



県教組山形地区支部教文部と共催

山形県民教連 冬の学習会2024

2024年1月6日（土）

会場：山形ビッグウイング 4階中会議室

受付開始13時00分 開会13時30分

季節が巡るのは早いもの。暖かい日が続いていた晩秋の空に彼方シベリアからの寒気団がやってきました。

インフルエンザの罹患者増が続いています。相変わらず人員不足の続く学校現場にあって、教職員一人一人のマンパワーが最後の砦となっています。とはいえ、だれもが生身の人間です。どうかご自愛ください。

県民教連・県教組山形地区支部教文部共催の冬の学習会をご案内します。みなさんの参加を心よりお待ち申し上げます。

参加費（資料代）500円

13時30分～15時30分 講演会（どなたも参加できます）

15時40分～16時30分 県民教連2024年次総会（会員のみなさん）

Contents

● 講演 「日記を読み合う中で子ども達は成長する」

～教師も成長する生活綴り方～

青森県作文の会 工藤 ふみ さん

工藤ふみ氏プロフィール



日本文学の会会員・岩手大学教育学部非常勤講師
青森県教育厚生会
「親と子と教師の教育相談室」室長

元小学校教諭、青森県作文の会所属
20代後半から橋本誠一氏と故・津田八洲氏に師事
30年以上にわたり「生活綴り方」を実践

工藤ふみ先生の実践（山形県民教連通信77号より）

春、子どもたちとの出会いから始まる

子どもたちの新年度に向けての前向きな気持ち、不安。「前の先生がよかった」という正直な気持ちに寄り添い、共感しながらコメントを添える。春さがしにクラスで出かけ、つくしを見つけ「これ食べられるんだよ」から日記は豊かになっていった。



保護者ともつながっていく

子どもが日記に書いてきた『ばれた』という微笑ましい詩。連絡帳に書かせた「修学旅行で余った500円を返金します。」のメッセージの後に「五百円はお子さんにあげてください。」の文字。その子が先生に似せた字で赤ペンで書いた。お母さんはすかさず「ふみ先生がそんなこと言うわけないじゃん。」…バレてちょっとバツの悪そうな子と苦笑している母親の姿が見えてくる。こんな楽しい日記が保護者との関わり大切さを物語っていく。東北の教師たちがめざしてきた現実を見つめる目は、本音を書くことで開眼し、読み合うことで探究し共有していく。それがふみ先生の実践に脈々と流れている。



予告！明日の授業のための教育実践講座2024を開催

2024年3月30日(土) ①国語②作文③算数数学④社会科/総合
⑤学級集団づくり⑥特別支援

の6講座・分科会を予定しています。会場は山形ビッグウイング、2月下旬頃に詳細をご案内します。

県民教連冬の学習会2024 申込先

スマホから簡単申込→



山形県教組山形地区支部
TEL023-631-2112
山形市木の実町12-37大手門パルズ5階
E-mail : yamagata@yamagata-kenkyousei.jp

または
山形県民教連事務局 東海林 仁
E-mail : papas59.shoji94@gmail.com

参加申込(こちらに記入いただきFAXやメール添付で送付ください)	
お名前	
連絡先(携帯等)	
所属(学校やサークル等)	
参加プログラム	①講演会参加() ②県民教連2024年次総会参加()
()に○を記入下さい	